

休日の観光案内を

◎ 各団体が対応



松本 利秋議員

議員 本町の自然や歴史・文化財を生かし、観光に結びつけている金持神社観光を始めとして、オシドリや根雨のたらの楽校、黒坂鏡山城下を



黒坂駅前より鏡山城址を望む

知ろう会、上菅の都合山たたら、日野川のラフティングの活動が活発化してきています。町の観光行政として、各団体等の連携を図るとともに一つに束ねることができませんか。

町長 それぞれの団体の活動は、それぞれの思いや方向性があるやあっておられますので、町が一つに束ねることは、適当でないと考えます。各種団体の連携について

は、町としては、観光協会を通じて各種行事への情報提供などにより、連携へのお手伝いをさせていただいております。

議員 町長は、町の観光協会総会の席で、各種の観光団体を束ねていくことが観光協会であり、町の観光行政であると言われました。

休日の対応は、金持神社札所を除いて連絡が取れない状態です。対応策として、役場の日直で観光案内業務はできませんか。

町長 よく日曜等に宝仏山の登山客を見かけますが、街が閑散としておりますので、町を挙げて、もてなしをする体制を取っていく時期にきていると思います。

あくまで主導権は町観光協会が握るべきであると思えますので、よく協会と相談しながら皆さんにご不便をかけるような対応をしていきたいと思えます。



たたら楽校に観光客

金持神社札所が年中無休（10...00～16...00）であり、たたら楽校の皆様の協力を仰ぐ方向で、休日の観光案内対応について検討していきたいと考えます。

議員 観光団体への金、物の支援は。

町長 金銭的支援については、町の元気なまちづくり交付金や国、県の補助金や助成制度を活用頂ければと考えます。

人的支援は、企画政策課職員が観光協会事務局として可能な支援に努めます。

議員 観光案内は、服装やネームプレートも大切。観光、行政面からも役場職員のネームプレートの統一は。

町長 職員は、以前はオシドリのネームプレートを付けていましたが、現在は各人色々表示しています。

一工夫は要るのではないかと、議員の指摘でありますので、検討してみる必要があるかと思えます。



小谷 博徳議員

都合山たたらの保存を

答 十分検討してみたい



玉鋼を運んだ道

議員 遺跡的価値が非常に大きいと言われている都合山たたら保存についてお聞きします。

町長 町有地であれば即刻対処できるのですが、民有地でありますので、そのところを解決しなくてはいけません。いずれその時期が来れば、議会ともよく相談をしていかなければと思っています。

町民の認識がどの程度か、その向上が一番先決であると思います。

小6歴史副読本 活用と欠落部分は

議員 この町が生んだ、歴史、文化、芸術、史跡、偉人等をまとめた、小学6年生の郷土資料「わたしたちのまち歴史編」の活用方法を、お聞きします。

町長 町内17の史跡等や、近代において活躍された8人の人物を絵図や写真でわかりやすく記述し、日本の歴史に日野町の出来事をリンクし、メインタキストとして、活用する計画を立てています。

議員 小学6年生の歴史学習だけの活用となっていますか、もったいないと思います。

小学1年生から中学生の活用は考えていますか。

教育長 あくまでも6年生の歴史を中心に、世界や日本の歴史の流れの中で、資料集として活用しています。

議員 小中学生に郷土の伝説、史跡、歴史、文学、芸術、偉人などを機会あるごとに教えることで、郷土愛が生まれ、ひいては、定住意欲や、ふるさと納税、町に対する誇りが生まれると考えますがいかがですか。

町長 6年生の副読本だけに使うのは、忍びない気持ちがあります。

町民全体の財産にしたいという気持ちを持っています。

議員 ひの郷会の皆さんの指摘で気づいたのですが、松本市寿さんという良寛、一休の



都合山たたら 高殿跡

研究では日本一といわれ、全国50支部1000人の会員もいる方も漏れています。欠落している部分は今後どうされますか。

教育長 小学6年生の歴史という観点から、すべて網羅するということにはなりませんでした。

いろいろな意見も頂いていますので、今後補完をしていくことを考えています。

事業者選定のルール化は

答 基準を検討



安達 幸博議員

議員 昨年度、若者向け住宅の建設は、プロポーザル方式で施工者が選定されました。



町道西側線の工事始まる

また、町道拡幅のための家屋の解体も、事業者選定は、プロポーザル方式と言われま

した。事業者選定は、財務規則にあるように、一般競争入札、指名競争入札、随意契約があります。

事業の性質や規模で、事業者選定を使い分けて良いのではと思う観点から、事業者選

定の考え方を伺います。

町長 日野町財務規則及び日野町建設工事執行規則に基づいて、競争入札及び随意契約に参加する必要な資格に登録された者、指名願を出された業者から厳正かつ公正に選定し、工事内容によって日野町内業者、あるいは専門業者を指名しています。

議員 プロポーザル方式で事業者を選定するときは、事業の規模、内容等により実施する取扱い規定を作るべきだと思いますが、どうですか。
町長 プロポーザル方式は、提案型です。

この提案型には、設計施工一括発注方式、コンペ方式等があり、本町では、通称としてプロポーザル方式と言っていました。

実施に当たっては、各事業ごとに要綱を定めて、工事あるいは設計内容、経費等の提案を受け、審査を経て契約者を決定し、随意契約するもの

です。

プロポーザル方式は、すべての工事に適用するものではありませんので、特殊性なども考慮して一つの基準を設けることも検討してみたいと思います。

議員 家屋解体の事業者選定は、プロポーザル方式で行うと議会には説明しているのに、設計施工一括方式にされたのは、なぜですか。

町長 この家屋の解体は、アスベスト等の特殊事情がないので、本町に指名願いをだされている業者にこの解体は、



町道天王線拡幅のため家屋の解体工事

いくらで請け負いますかの提案型としました。

議員 結果的には、町内業者が施工され良かったと思います。プロポーザル方式についての規定を設けている自治体は、たくさんあります。

是非、参考にしてより早く、安く、良い物をつくるような政策に結びつけるべきではありませんか。

町長 公明正大が基本です。業者の知恵も取り入れて良い工事をしたと思います。



竹永 明文議員

小学校の統合は

答 当分の間、統合はしない

議員 少子化が進む中、小学校の統合については、どのように考えておられますか。

町長 小学校は、地域の活性化の拠点であるところから考えておられます。地域に愛され、地域に開かれた特色ある学校運営を目指して、本町では小学校は当分の間、統合は行わず、単独自立の方向を確認しております。

議員 子どもは生まれてから、いろいろな環境で切磋琢磨して成長することも必要であり、少子化の現状を踏まえ、統合のことを教育委員会で論議すべきではありませんか。

教育長 現在、踏み込んで論議はしておりません。本場に一人一人を大事にしていくためには、多い中でもまれることも大事ですし、少ない中で身につけていくことも必要です。

日野町では、根雨小と黒坂小の学年が一緒になって、合同的な活動も取り組み、授業等も教員が互いに公開し合いつつ、指導をしていきます。

今後はさらに一歩進めて授業のあり方等を考えていかなければいけないものと思っています。

町長 決して町長の個人的な判断でもって決めるものではありません。

みんなが真剣になって、これからの子供の教育をどうするのか、そういう線上に統合問題が出てくるものだと私は思っており、行動もとつていきたいと思っています。

食物アレルギーに 対応する給食を

議員 食物アレルギーに対する対応と学校給食における対

策の現状をお聞きます。
町長 保育所においては、食物アレルギーに対応して除去食を提供しています。

学校給食センターでは、除去食の対応はいたしておりません。そのため、食物アレルギー対応の必要な児童、生徒については、命に係わる事態が生じますので、保護者面談の上、主治医の指示内容、家庭での食事等を綿密に聞き取りを行い、必要に応じて弁当持参を保護者をお願いしています。

議員 保護者の要望に真剣に対応すべきではありませんか。
教育長 児童の情報が我々に伝わってこなかったこともあり、

そのことを反省しながら、今後もっと保護者との連携を密にして対応していきます。



黒坂小学校



根雨小学校

公共施設の長寿命化は

◎ 答 まずは橋梁から



松原 直人議員

議員 公共施設を有効に活用し、効率的な施設の維持管理、更新に努めることは、将来のまちづくりにつながる。今後の

の維持管理計画を策定し財政負担増にならないようにしたいものです。

長寿命化修繕策定計画で残っている物件、施設整備の優先度など今後の計画をどのように考えていますか。

町長 長寿命化修繕策定計画は、橋梁109橋のうち国の助成対象となる、15以上の橋梁38橋について、緊急度の高い橋梁から修繕を行います。



野田橋歩道橋（修繕予定）

た。

来年度2橋、野田橋の歩道橋と近江橋を予定し、おおむね損傷の橋梁は来年度をもって完了予定です。

日野町耐震改修促進計画を平成21年度に作成し、特定建築物とされる施設は、平成24年度施行の根雨小学校、黒坂小学校で終了予定です。

公共施設は今あるものをいかに長寿命化していくか、点検しながら計画的に施行します。

空き家及び

危険廃屋対策は

議員 高齢者世帯が増え、後継者がなく、空き家が増えていきます。空き家と危険廃屋の対策はどうしますか。

町長 空き家は110戸程度が該当になります。その内危険と思われる物件は、12戸程度、公道に面し危険と思われる物件は、5戸程度と認識し

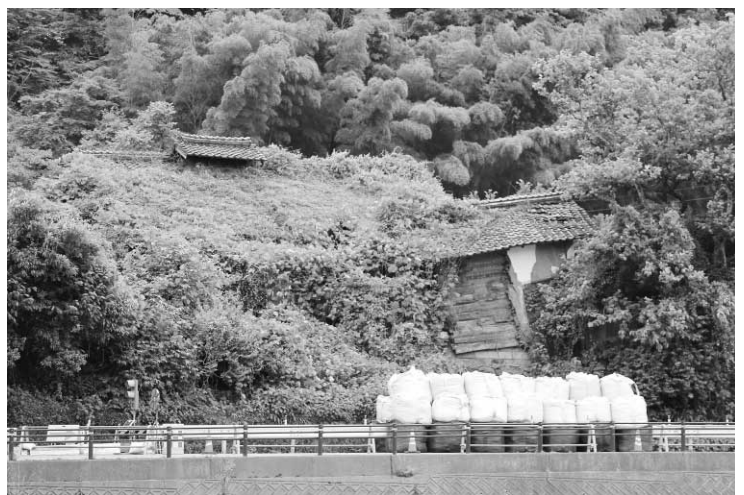
ています。

廃屋に対し、原因者の責任を問う法的根拠はなく、個人の財産権があることから、財産を勝手に処分することはできません。

元気なまちづくり

交付金は

議員 元気なまちづくり交付金は、コミュニティ活動、自治会等が元気な地域づくりを目的に、今年度予算は360万円から150万円に減額さ



町内の廃屋

れています。

自治会や団体が申請しやすくできないですか。

ねう祭り・黒坂納涼まつりは、この交付金になじまないのではありませんか。

町長 現在申請を受けているのは6件です。

長い伝統ある祭りでありますが、毎年実行委員会を組織して実施されており、目的も目指すところも合致しています。



佐々木 求議員

計画とは具体化することでは

◎ 目標をもとに協議

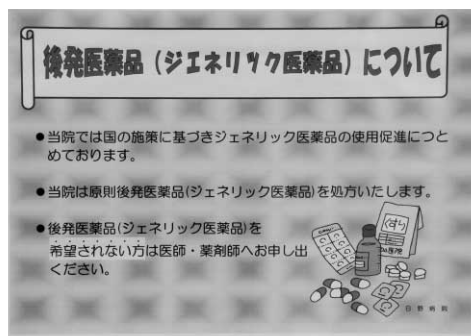
議員 「健康ひの21プラン健康づくり推進ビジョン」が10年間を見据えた計画として策定された。各種の分析、アンケートはあるが、どのように進めていくか「計画」の部分はなく、目標のみ示されています。

また、議会などで議論されてきた課題の「地域医療との連携」などにも触れていないのはなぜですか。

町長 生涯を通じた健康づくりのために生活習慣を改善し、より積極的な健康増進を進めることを目的に策定したものです。

今後の事業については、設定した目標を基に毎年、関係機関と協議しながら計画するという柔軟な対応とします。
課長 国の目標なり町の現状を見て、目標値を設定しました。

生活習慣病の見直し、介護予防あるいは検診等、受けていただき、早期発見、早期治療に努めます。
住民の意識を変えていただくことが重要な課題です。



普及促進ポスター

後発品利用と特定健診の推進を

議員 国保会計は、病院が赤字になることは国保会計が赤字になるという俗論を突破し、成果を上げている。今回の改定は引き下げになりますが、この時期にこそ、後発品の利用促進と特定健診等の啓発を行ういい機会ではないかと考えますが、どう考えられますか。

町長 ジェネリック医薬品の普及促進は必要と考え、補正予算で、使用した場合との差額通知を新たに行う経費を追加分上しました。普段の健康管理、検診などでの早期発見、早期治療で早く直していただくようにしたいです。

障がい者をだれが守る

議員 「障害福祉計画」に「家族会設立のための支援」がない。第一歩の命題です。また、「鏡山荘」が廃止されようとしています。町も県もその関係者も町社協のせいにして、町社協は県から言われて進めています。障がい者を守るため、町社協に協力して力を尽

くすべきではありませんか。
町長 行政ばかりでは守れないので、障がい者団体の方にもお願いしています。建築基準法上、改修か閉鎖せざる得なくなりました。
施設を作る気持ちはないわけではないが、緊急避難をした。県とも相談します。



鏡山荘

特集 行動

がんばっている人・団体を、3回シリーズで紹介しします。

移住者4人

農林業救うか

本気になって、移住者施策が打ち出せないこの町に、この3年間で4人の農林業関係Iターンを迎えました。

多くの市町村が、農林業移住希望者の説明会に出かけたが、インターネットで呼びかけ、手厚い市町村の支援の上に、Iターンを迎え入れている現状からすれば、大ヒットといえます。

しかし、それだけに将来を見据えるサポートを、行政に求められています。

鹿児島・福岡・明石・広島から日野町に来て、

「新規就農」

「大規模農業者の支援」

「シイタケ原木栽培に挑戦」

など、過疎高齢化・後継者不足で衰退する農林業が、今抱えている課題に、果敢に向かつていく若き移住者の姿は、後継者不足に悩む農林業の再生に期待するところも大きいと思われる。

しかし、難しい課題も山積んでいます。

不安定といわれる農林業を



若き移住者達

生業とした中でしつかりとした生活基盤構築に向けて、いかに取り組んでいくのか。空き家登録による住まいの確保は大丈夫か。等、どういう形でどのような支援ができるか、行政の力量が問われます。

多くの農林業者が、儲からないと言われる昨今、「いきがいある農林業」を夢見て挑戦する、若き移住者に期待をし、心からエールを送りたいと思います。



シイタケ栽培研修生

(議会広報調査特別委員会編纂)

全国議長・副議長研修

5月29日・30日、東京メルパルクホールで、第37回町村議会議長・副議長研修会が開催され、全国から1500人にも関係者が参集。本町からも議長・副議長が参加しました。

初日は、埼玉県嵐山町議会議長が、「議会活性化の取り組み」について講演。続いて4人の専門家による「町村議会のあり方と自治制度」と題したシンポジウムで、議員の定数、報酬等、町村議会が抱える問題など、幅広く議論がなされました。

日野郡町議会議員研修会

6月1日、日野郡町議会議員研修会が、日野町役場を会場に開催され、

「日野郡への思いと期待」と題して、鳥取県厚生事業団副理事長 山本光範氏の講演を聴きました。

山本氏は、日野郡福栄の出身とあって、故郷への思いが強く、郡内の人口減少の動向、日野町の財政破たん等熱く話され、県政から町政にまで及ぶ内容の研修でした。

あとがき

かつて、雨に絡めて湿っぽいイメージで語られていた裏日本より、最近では表日本といわれている地方で、雨や風の被害をよく聞きま

す。
6月の台風4号は、5年ぶりの本土上陸といわれましたが、降雨少ない空梅雨の模様です。

国政も、与野党で厳しい攻防が常となっていたが、消費増税を巡っては、与党同士の攻防が目が離せない状況を呈しています。

なんとなく異常な現象のようです。

2か月かけて発行していた議会だよりも、コンピュータソフトの力を借りて、一日でも早く発行と悪戦苦闘。

出来るだけニュース性を大切に、議会閉会后1か月の発行を目指して、お届けする運びとなりました。
ご意見、ご提案をお待ちしています。

小谷 博徳